

上林 暁(かんばやしあかつき)の作品に「花の精」という短編があります 戦後間もない頃 府中の河原に月見草をひきに行く話です その中に 是政線(現在の西武多摩川線)のガスリンカーに乗り 月見草の中の線路を走る場面があります 「運転士が見とれていたら 列車ごと花の中に転落するだろう」といった描写があります この菜の花の咲き乱れる鉄道の運転士も同じでしょう 美しい日本の鉄道風景の一つです



これが完成した絵です



1、雲は現在研究中です 単純な影ではなく 実在感を持った雲にするための 雲の観察と技法の研究



2、背後の常緑樹の森と民家 実はこの位置に民家はないのですが 地平線にアクセントをつける為に ついつい描いてしまいました



3、これは竹林のつもりなのですが 少し表現の努力が足りませんでした これをうまく表すれば 画面は格段に良くなったはず



4、菜の花に一生懸命になって 主題のはずの気動車が やや雑になってしまいました 全部と後部の角度も揃っていません



5、菜の花畑は そう簡単に描けるものではありません 一面黄色なので 遠近感も立体感も出しにくいのです



6、近くの菜の花は 黄色の「パステル鉛筆」で描こうとしました 水彩絵の具だけで描けるといいのですが 自信がありません